

# 令和4年度学校評価外部報告書

兵庫県立加古川南高校 学校評価委員会

総合評価 B+  
(データ平均値 77.0)

テーマ	領域	重点目標	評価項目No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	来年度の改善の方策 (令和5年3月記入)	来年度に向けての方策	
夢や志を育む学校をめざして	領域1 キャリア教育の充実	産社・総学の充実	1	自己理解・自己管理ができるとともに、コミュニケーション能力が向上した。	キャリア推進各年次	B+ (77.1)	B+ (74.4)	B+ (76.5)	3.0	3.0	3.2	<p>【1年】「エナジード」を使用しての学習は、他の行事などの関係で、連続的に行えないため、効果的にすすめることができなかった。それに代わる計画を作成する必要がある。</p> <p>【2年】自分のゼミだけではなく、ゼミ混合での発表の機会を増やしていったらどうか。ゼミ担当者にはない発想を他の教員が与えてくれることもあるので、評価の「目」は多いほうがよい。</p> <p>【3年】スピーチなどの時間を入れたことは、発表の練習として良かったが、結論をまとめる時間をもっとしっかり授業の中でする必要があると感じた。</p> <p>【キャリア】「課題を発見する」「解決策を考える」「アイデアを実行する」「検証する」というステップについて学ぶ機会を充実させ、探究の道筋をつけられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な工夫がされている様子を見出し、数字に一喜一憂するのではなく、生徒の思いに寄り添いながら指導して欲しい。</li> <li>次年度に向け具体的な改善策が必要である。</li> <li>キャリア教育においてインターシッブは効果的と考えます。高校生に適したインターシッブを加古川南高でも進められていると思います。今後も推進をお願いしたい。</li> <li>進路実現に向けて個に応じたきめ細やかな指導をしたと教員は、自負しているし、生徒もそこそこ認めているが保護者の過半数はそうは思わない、あるいはわからないとしている。日常の生徒指導が逐一保護者に伝えることは難しいと思います。この評価を保護者に求める必要があるのではないか。</li> </ul>	
			2	課題に対して情報を適切に処理し、課題解決していく力が向上した。	キャリア推進各年次			B+ (74.4)	2.9	3.0	3.1			
			3	働くことの意義や役割を理解し、進路意識や職業観が向上した。	キャリア推進各年次			A- (80.4)	3.0	3.3	3.3			
		進路の達成	4	希望する進路に向かって地道に学習する生徒を増やした。	キャリア推進各年次	B+ (76.7)	B+ (75.5)	B+ (76.1)	3.0	3.0	3.0			<p>【1年】引き続き、キャリア推進部と年次とが連携をとりながら進めていく必要がある。より個別の目標に応じた計画を、進路LHRなどを通じて提示しながら、担任を中心に個別対応できる時間を作る。</p> <p>【2年】修学旅行が終わってからようやく「3年ゼロ学期」の意識づけができたように思うが、これでは遅い。3年間を見通した進路LHRの計画を立てなければならない。</p> <p>【3年】面談を通して、生徒と保護者の考えをしっかりと確認することが重要。その上で、個々に応じた情報提供や検討をおこない年次とキャリアで共有し、指導の方向を決める。もっと業者の活用を考えてもよかった。</p> <p>【キャリア】産社・総探を通じて、自己を理解し学び方を学ぶということを定着させ、進路実現への意識を向上させる。また、キャリア推進部と年次との連携を深め、情報共有も十分に行う。</p>
			5	進路実現に向けて個に応じたきめ細やかな指導を実施した。	キャリア推進各年次			B+ (77.6)	3.1	3.2	3.0			
			6	キャリア教育と進路指導が連携し、効果が上がった。	キャリア推進各年次			B+ (72.8)	3.0	2.8	2.9			
	ガイダンス機能の充実	7	納得のいく科目選択のために丁寧なガイダンスが実施された。	キャリア推進1・2年次	B+ (77.4)	B+ (78.9)	A- (81.2)	3.3	3.3	3.2	<p>【1年】具体的な夢や目標が明確でない生徒に対して、目標などを探求すると同時に、特に科目選択時に、明確でない目標に向けての個別対応が必要である。</p> <p>【2年】科目選択について。選択科目には特に人数制限があるため、選択したくてもできない生徒が出てくる。選択科目数の見直しと、選択科目の「配置(どの枠にどの科目をおくか)」を見直す必要があるかもしれない。</p> <p>【3年】面談を通して、生徒と保護者の考えをしっかりと確認することが重要。その上で、個々に応じた情報提供や検討をおこない年次とキャリアで共有し、指導の方向を決める。もっと業者の活用を考えてもよかった。</p> <p>【キャリア】3年間を見通しをもって、進路選択に向けた情報提供を的確に行い、業者を活用した進路ガイダンスや相談会についても計画的に実施する。</p>			
		8	進路実現に向けて効果的な情報提供がなされた。	キャリア推進各年次			B+ (78.9)	3.0	3.3	3.1				
		9	生徒の情報が教員間で共有され生徒の意欲向上につながった。	各年次各教科			B+ (72.1)	3.0	2.6	3.0				

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	来年度の改善の方策 (令和5年3月記入)	来年度に向けての方策	
夢や志を育む学校をめざして	領域2 学力の向上	授業改善	10	わかりやすい授業、意欲を高める授業を実施した。	全職員	B+ (71.6)	B+ (70.9)	B+ (72.1)	3.2	2.7	2.8	【教務】iPadを利用した授業を展開するために、公開授業を昨年度より多く実施する。また、研修を行い各自が独自に行っているICTの利用方法を共有することで、全職員の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC、タブレット、iPadの授業、やりとり等充実させてほしい。</li> <li>・今年度入学生すら新学習指導要領が年次進行で実施されました。抽象的な表現で申し訳ありませんが、それぞれのぬ生徒の個性を活かし、協同的探求を進める本校の深い学びの表現をお願いします。</li> <li>・学習意欲を高めるのは、難しいと思う。</li> <li>・家庭学習の習慣を定着させることは必要ですが、生徒本人がその気にならなければむずかしいでしょう。学校側は、予習・復習をさせる手立てを組織的・計画的にしようとしたのですが、生徒にその意義が理解できないのであれば、いつまで経っても生徒が自覚して、家庭学習を定着させることはないと思います。一年次での三者協議で、進路確立に向け何をすべきかを動機づけすべきではないでしょうか。</li> <li>・読書習慣は、今の学生にかけていると思われず。学生の習慣となるようお願いします。</li> <li>・図書室の活用を考えておられるが、行きたくするような図書室づくりをしてはどうか。事業内容も然ることながら外部の人(保護者・ボランティア)の在室日時を確保し、教員以外の大人と交流することで居場所になるかもしれない。・教員の勤める・役に立つ本だけを読むのではなく、自分でさがしたり、興味を持ったり、ボランティアに勧められたりした本を読む機会の積み重ねに大きな効果がある。</li> <li>・朝読等の読書活動で読解力の向上は期待できるものではないでしょう。生徒の中には本を読むことが好きではない、あるいは興味のある本、そうでない本があり、本を読むことにまず慣れさせるために、生徒に一律に同じ本を読ませるのではなく、いくつかのジャンルの本を準備し、そこから読書する本を選ばせたらどうでしょうか。</li> </ul>	
			11	主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習過程の改善に取り組んだ。	全職員			B+ (70.1)	3.0	2.6	2.8			
			12	授業公開や生徒による授業評価を取り入れるなど授業改善に取り組んだ。	教務各教科			B+ (70.6)	2.9	2.7	2.9			
		カリキュラムの充実	13	進路達成に応じた、多様な科目を設定した。	教務各教科		A- (81.7)	A- (87.1)	3.3	3.6	3.5	【教務】新教育課程が実施され2年目に入るので、設置科目の精査や置換を考え、生徒の進路実現に沿うようなカリキュラムを編成する。また、総合学科ならではの学校設定科目を継続して設置する。		
			14	学力向上を目指したカリキュラムを設定している。	教務各教科				B+ (79.6)	2.8	3.4			3.3
			15	新学習指導要領に対応した教育課程編成の準備をした。	教務各教科				B+ (78.3)	3.1	/			/
		学習習慣の定着	16	家庭学習習慣を定着させた。	各年次教務		B- (65.6)	B+ (73.7)	3.2	2.6	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>【総務】朝読書を継続して行う。蔵書点検を適宜行い、またアンケートを通して、生徒が求めている本を、できるだけ多く揃えるように務める。図書館だよりの発行、秋の読書週間にイベントを開催するなど、読書への興味・関心を高める。</li> <li>【教務】各年次と連携し、朝読書・小テスト等、日々の学習を定着させる取り組みを行う。</li> <li>【1年】「有言実行」の実行力が不足している生徒が多く見受けられる。日々の実行の積み重ねのための声掛けを各担任、各教科担当を中心に行う必要がある。</li> <li>【2年】学習意欲の「継続」に向けての声かけが不十分であった。意欲はあるのだが継続しないのが本校生の特徴であるため、教員側のこまやかな声かけが必要である。</li> <li>【3年】年間計画をしっかりと提示し、継続的に学習に取り組む習慣を確立させることが大切である。取り組んだ成果が実感できる工夫も必要である。</li> </ul>		
			17	予習・復習をさせる手立てを組織的・計画的に実施した。	各年次教務				B- (61.9)	2.9	1.9			2.7
			18	読解力の向上を目指して、朝読など読書活動を実施した。	総務各年次				B- (61.2)	2.7	2.1			2.6

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	来年度の改善の方策 (令和5年3月記入)	来年度に向けての方策	
夢や志を育む学校をめざして	領域3 人間の育成	生活指導の充実	19	交通マナーの向上に努め、自転車事故の低減を図った。	生徒指導各年次	A- (80.1)	B+ (80.9)	B+ (78.4)	3.3	3.1	3.0	<p>【生徒指導】交通事故を未然に防ぐために全校集会等での啓発活動を行う。いじめに関しては小さな事案も見逃さずに全職員で取り組む。ネットでのいじめ案件が無いようにするためにSNS講演会を行い未然に防ぐ。</p> <p>【生徒指導】生徒の小さな変化に気づき、悩んでいる生徒に寄り添えるよう心掛ける。校則の見直しを積極的に行い、時代に即したものにしてい</p> <p>【1年】長期休業中に、髪色やピアスが増加するのを受け、事前指導を入念に行うとともに、事後指導を進路指導にもつなげ、学校内外において進路実現に向けた生活を送れるよう指導する。</p> <p>【2年】生活態度等については大きく崩れることはなかったが、遅刻が多いことと偏りの指導が数件あったことが気になる。生活のみだれは何かのサインであることが多いため、一人ひとりと時間をかけて向き合っていく。</p> <p>【全年次】昨年度と同様に生徒とのコミュニケーションの機会を増やす。学校全体で指導のラインを一定に保ち、年次に限らず全職員で指導にあたる。</p>	<p>・生徒の悩みを聞く体制について、教員はほぼできていると思っているのに対し、生徒・保護者は6割程度しかできていないと答えていません。教員と生徒・保護者の間にギャップがあるのか分析が必要ではないでしょうか。分析の結果を体制の改善につなげることを期待します。</p> <p>・学校行事の運営の一部を生徒に任せるといった計画は効果的です。積極的に推進願います。</p> <p>・成年年齢が18歳に引き下げられたことも視野に入れ、任せられる部分は積極的に任せると等人間力の育成に取り組んでください。</p> <p>・私の勤務する子育て支援のNPOと連携していただいているが、加古南生のまじめで一生懸命の姿勢は気持ちがいい。役立ち感は、大切な成長の源である。担当の教員の存在も大きい。ボランティアをやるだけでなく、ボランティアの受け入れ側を体験することも必要ではないか。その気持ちを理解したり、準備が必要であることもわからなければいけないと思う。</p> <p>・ボランティアはよい心がけを感じる。活性化できるよう取り組んで欲しい。</p> <p>・本校のHPはとても充実しており見やすく見たいものでした。</p> <p>・インターシップの活動もよい取り組みであり無理ないで続けて欲しい。</p>	
			20	ネット依存・トラブル防止のため、情報モラルの高揚に努めた。	生徒指導各年次			B+ (79.0)	3.3	3.2	3.0			
			21	端正な服装・頭髪ができるなど規律正しい学校生活を送らせた。	生徒指導各年次			A- (87.0)	3.3	3.5	3.6			
			22	定期的にアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見・解消に努めた。	生徒指導保健・各年次			A- (82.0)	3.5	3.1	3.2			
			23	生徒の悩みを聞く体制がとられており、共通理解に基づいた対応ができた。	生徒指導保健・各年次			B+ (78.3)	3.4	3.0	3.1			
		課外活動の充実	24	部活動を活性化し、自主性や豊かな人間性を育んだ。	全職員		B+ (79.6)	B+ (77.5)	3.1	3.1	3.1			<p>【総務】学校行事の運営に、現在も実行委員会を中心に多くの生徒が関わっているが、より多くの生徒が関わることができる工夫が必要である。またコロナの影響が少なくなり、校内・校外行事が以前のように行える可能性が高いので、生徒への情報提供や教員からのサポートが必要である。</p> <p>【生徒指導】生徒の自発的な行動が生まれるように働きかける。</p> <p>【キャリア】総合学科発表会等の行事を、可能な限り生徒主体で運営できるようにする。課題研究において校外での活動に積極的に参加させる。</p>
			25	生徒会活動や学校行事を通して主体性が育まれた。	総務 キャリア推進 生徒指導			A- (81.6)	3.4	3.0	3.4			
		地域との連携充実	26	ボランティア活動やインターンシップなど、地域と結びついた活動が活性化した。	生徒指導 キャリア推進		A- (85.9)	A- (86.6)	3.6	3.4	3.4			<p>【生徒指導】ボランティアの加古南と呼ばれ続けるように活動を活性化させる。</p> <p>【キャリア】インターンシップを継続しながら、その他にも地元企業や自治体と関わる機会を増やし、協力体制を築いていく。</p> <p>【企画広報】引き続きホームページの毎日更新する。緊急連絡ボードというページを設置したので何かあったら運用できるように周知する。</p>
			27	ホームページ・各種学校通信など学校からの情報発信は効果的に行われた。	企画広報			A- (85.3)	3.7	3.2	3.3			

テーマ	領域	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	来年度の改善の方策 (令和5年3月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	領域4 教師力の向上	28	生徒に寄り添い、厳しさと温かさをもってカウンセリング力、コーチング力の向上に努めた。	全職員	B+ (79.8)		A- (81.4)	3.6	3.1	3.2	【全職員】意欲ある職員の指導実践について、情報共有する場を持つ。しかし、望ましいのは、わざわざ時間を設定するのではなく、普段の職員室での会話の中で意見・情報交換が行われることである。また、最新の指導法について研修する機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員がチームとして努力していることが良くわかる。素晴らしい学校には、いきいきと活動する生徒と同様にやりがいを感じている教員がいる。働き方改革なども評価に掛け、働きやすさ、もっとやりたいと思える学校づくりができる働き方もみんんで考えていく必要があると思う。</li> <li>・職員室での会話は、効果的と考えます。それに加えて研修会をやっていたければと思います。</li> <li>・新学習指導要領により教育の質が高まることは、良いことだと思いますが、教員への授業内容の相応の工夫が必要となり、これまでにないBYOD等最新の指導法までの対応となると労働時間の増加や心身の健康について心配な面があります。特にICTの分野においては学校側の負担を軽減するITベンダーとの連携が必要と考えます。</li> <li>・29と30の項目について評価をわからないとする保護者がかなり多く、29の評価をわからないとする教員がいることから当然の結果かもしれません。教師力とは何か、教育力とは何かを設定して、目標を明確にしたほうが良いのではないのでしょうか。・学習とともに心構面においても生徒に寄り添った指導をこれから持つていきたい</li> </ul>
		29	ニーズをつかみ、変化する時代に対応するために総合的な教師力の向上に努めた。	全職員			B+ (76.5)	3.1	2.9	3.1		
		30	報告・連絡・相談を密にとり、「チーム学校」としての教育力の向上に努めた。	全職員			A- (81.5)	3.3	3.2	3.3		